

7月12日、安全祈願祭（火入れ式）を行いました

7月12日、最上町役場、消防署、その他関係者の方々にもお越しいただき、もがみ里山発電所の設備入替のための安全祈願祭（火入れ式）を行いました。

今回の設備入替では新たに小型熱電併給バイオマス発電機を2台導入しましたが、これにより発電とともにその排熱を利用する各種事業も行える、最上地区での地産地消型のエネルギー拠点となることが可能となりました。

また当社では本地区において、木質バイオマス発電の原料となる早生樹の植栽、研究も新たな事業として開始しております。

当社は今後とも、これらのいろいろな事業を通じ、地元の方々を始め、日本の皆様すべてのお役にたつ、木質バイオマス発電事業者となるように努めてまいります。



安全祈願祭(火入れ式)の様子



榊を奉納する当社社長高橋



小型熱電併給バイオマス発電機及びチップヤード